

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施。

OSCEや看護・福祉学科それぞれの施設見学や実習、卒業後の実務場面を想定した体験的プログラムを組んでいる。学生は受動的に「講義を聞く」「聞いてわかる・知る」ことを目的とすることなく、毎回行われる体験課題や実践的トレーニング学習場面に積極的に参加し、行動し発言することが期待されている。

《担当者名》長谷川 聡

【概 要】

実習およびその関連科目学習に際して必要な、患者・利用者・家族・職員とのコミュニケーション・スキルに関する知識と技術について、実技演習を通して基礎から学ぶ科目である。

【学習目標】

- 1)福祉専門職に必要なコミュニケーション・スキルと人間関係について理解するために、オンラインコミュニケーション、ロールプレイ、シミュレーション、映像表現等による対人コミュニケーション訓練を体験する。
- 2)「コミュニケーションへの配慮」、「傾聴的態度」、「ことばの介助」を説明して実践できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	前期オリエンテーション	全学一斉オンライン授業化によるシラバス変更について説明する	長谷川
2	コミュニケーション学入門	コミュニケーション原理 1)コミュニケーションの第一原理を知る 2)コミュニケーションの第二原理を知る 3)対話によるコミュニケーション原理の理解確認	長谷川
3	遠隔コミュニケーションの基礎 1	画像とカメラ 1)カメラワークの基本を知る 2)ビデオ通話におけるカメラの使いかたの留意点を知る 3)ビデオ通話で画像送受信を確認する	長谷川
4	遠隔コミュニケーションの基礎 2	音声とマイク 1)音声通話実験 2)マイクの特性を知る 3)マイクの使いかたを知る 4)音声通話演習	長谷川
5	遠隔コミュニケーションの基礎 3	マイク通話と話しかたの留意点 1)マイクの使いかた(再掲) 2)声と音声言語の特徴を知る 3)話しかた演習	長谷川
6	遠隔コミュニケーションの基礎 4	画像伝達と映りかたの留意点 1)ビデオカメラの使いかたを知る 2)ビデオ通話の身体表現を知る 3)ビデオカメラへの映りかたを体験する 4)動画伝達演習	長谷川
7	遠隔コミュニケーションの基礎 5	語りかけるスキル演習 1)看護福祉遠隔相談のためのビデオ通話の心得を知る 2)「語りかける」ためのポイントを理解する 3)ビデオ通話による「語りかけ」演習	長谷川
8	遠隔コミュニケーションの基礎 6	聴くスキル演習 1)対話場面と遠隔場面における傾聴技法の異同を知る 2)ビデオ通話による傾聴技法演習	長谷川
9	ケアリング・コミュニケーション 1	1)「オープンマインド」について知る 2)「受容と共感」について知る 3)対話演習で「オープンマインド、受容、共感」の態度と応じ方を体験する	長谷川

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
10	ケアリング・コミュニケーション 2	1)「一往復半」について知る 2)「ペーシング」について知る 3)対話演習で「一往復半、ペーシング」の態度と応じ方を体験する	長谷川
11	ケアリング・コミュニケーション 3	1)「会話と対話」の異同について知る 2)「コミュニケーションと役割意識」について知る 3)対話演習で「会話、対話、役割意識」を表現する態度と応じ方を体験する	長谷川
12	ケアリング・コミュニケーション 4	1)ロールプレイの意味と意義、練習法を理解する 2)相談者-来談者のロールプレイを体験する	長谷川
13	ケアリング・コミュニケーション 5	コミュニケーション演習 1：独自の臨床的想定場面、患者・家族・住民との対話場面問題に回答し、その根拠やケアリング・コミュニケーション概念を自ら説明する。	長谷川
14	ケアリング・コミュニケーション 6	コミュニケーション演習 2：独自の臨床的想定場面、患者・家族・住民との対話場面問題に回答し、その根拠やケアリング・コミュニケーション概念を自ら説明する。	長谷川
15	ケアリング・コミュニケーション 7	コミュニケーション演習 3：独自の臨床的想定場面、患者・家族・住民との対話場面問題に回答し、その根拠やケアリング・コミュニケーション概念を自ら説明する。	長谷川
16	後期オリエンテーション	1)コロナ対応のためのシラバス変更説明 2)BYOD聴き取り調査	長谷川
17	映像制作入門	1)映像による介護とコミュニケーションの学び 2)BYODによる映像制作体験	長谷川
18	映像制作と自己表現 1	「企画」の意味と方法 1)アイデアをペーパーベースのカタチにする 2)アイデアをスクリプトに展開する方法を知る 3)「歯科衛生士学生という私」というテーマを知る 4)スクリプト作成演習	長谷川
19	映像制作と自己表現 2	「取材と収録」のテクニック 1 1)ビデオカメラの使いかたとカメラワークを知る 2)音声収録、音声クリップの取り扱いを知る 3)ビデオ・クリップ制作例示を観る	長谷川
20	映像制作と自己表現 3	「取材と収録」のテクニック 2 ビデオ・クリップ制作演習	長谷川
21	映像制作と自己表現 4	「自分を対象に取材する」意味と意義 1 1)「自分を知る」と「人に伝えること」の関係を 知る 2)「思いを伝えるシーン」をスクリプトにする方法を 学ぶ	長谷川
22	映像制作と自己表現 5	「自分を対象に取材する」意味と意義 2 コンテンツ収集演習 中間チェック：教員に収録したビデオ・コンテンツ を提示説明する	長谷川
23	映像制作と自己表現 6	編集技術を知り体験する 1 1)クリップ編集とつなぎ方の技術を知る 2)クリップを構成しストーリーを展開する技術を知る	長谷川
24	映像制作と自己表現 7	編集技術を知り体験する 2 クリップ編集とチャプター構成演習	長谷川
25	映像制作と自己表現 8	編集技術を知り体験する 3 1)音声トラックとその効果について知る 2)制作意図を伝える構成の見直しかたを知る	長谷川

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
26	映像制作と自己表現 9	編集技術を知り体験する 4 1)音声トラック編集演習 2)タイトル構成再編集の演習よ	長谷川
27	映像制作と自己表現 1 0	映像制作演習 1 1)完全パッケージまで自由演習 2)教員による随時指導	長谷川
28	映像制作と自己表現 1 1	映像制作演習 3 1)完全パッケージまで自由演習 2)教員による随時指導	長谷川
29	映像制作と自己表現 1 2	映像制作演習 3 1)完全パッケージまで自由演習 2)教員による随時指導 3)オンラインによる作品提出	長谷川
30	総括と振り返り	1)作品視聴と合評 2)シラバスと後期学習内容の振り返り表現する。 3)期末課題を知る。	長谷川

【評価方法】

期末提出作品70%、期末振り返りレポート30%。

【備 考】

教科書 ： 指定しない。毎回、独自に開発したワークシートや説明資料他を配布する。

参考書 ： 講義時に参考書リストを配布すると共に、推薦図書や論文について適宜解題する

その他 ： 積極的に学びたい学生は講義時間外に教員に約束を取り、教員を相手にコミュニケーション・スキル練習の機会をつくって構わない(要予約、シラバスのオフィスアワーを参照のこと)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1,4

【実務経験】

行政職員(福祉技術職)

【実務経験を活かした教育内容】

相談機関での実務経験を活かし、相談受付から初期面接を終えるまでの受入、ラポール形成、情報収集に至る相談過程を身につけ、また来談者への説明やグループワークの技法を身につける。